

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和6年12月21(土)、22日(日)		
事業名	令和6年度(第27回)高校生バンドフェスティバル		
趣 旨	高校生で編成されたバンドに、日頃の活動成果を発表する機会を提供し、音楽活動とおとして、地域や学校の枠を越えた高校生同士の交流を図る。 また、この経験を糧とし、将来的に文化活動を支える担い手の育成を図るとともに、参加型芸術文化活動をより一層促進する。		
会 場	さわやかちば県民プラザ ホール		
対 象	県内に在住または県内高等学校に在学する高校生で編成されたバンド		
申込方法	Web 申込(演奏動画添付)		
募集定員	24組の高校生バンド	募集期間	動画審査:令和6年8月1日から令和6年9月30日
参加者数	22組の高校生バンド(2組不参加) プロバンド「RUDE MAN」 観覧者342名	参加費用	無料
講師 等	玉置 瞬 氏(柏市立柏高等学校教諭) 薦 春紀 氏(千葉県立柏の葉高等学校教諭) 内記 達弥 氏(千葉県立流山のおおたかの森高等学校教諭) 澤 祥太 氏(柏市立柏高等学校出身・同校軽音楽部コーチ) 小谷野 大樹 氏(RUDE MAN(ルードマン)ボーカリスト)		
実施内容	内容:動画審査を通過した21校22組(当日2組不参加)のバンドにより2日間に渡りバンドフェスティバルを行った。   【舞台袖からの様子】 【正面からの様子】		
参加者アンケート	【満足度 96%】 「顧問」 ○このような舞台で演奏させてもらえるのは大変ありがたい。 ○音響、照明など素晴らしかった。参加校の演奏も素晴らしく、会場に来た生徒達は多くの刺激を貰っていた。 ○全バンドの受付時間を朝にし、最初から最後までいるようにすれば観客が増える。 ○土曜日をリハの日にして、万全の状態で開催させてあげたい(もしくは当日午前)		

	ハ)。そのために、出演バンド数を半分にする。そうすれば、バンフェスに出る価値も高まり、生徒たちのモチベーションも上がる。 「出演者」 ○観客も盛り上がっていて楽しかった。PA の方の対応がスムーズでやりやすかった。 ○ベースアンプの音や照明が良かった。 ○講評を用紙でもらえるとうれしい。 ○観客の顔があまり見えなくてつらかった。 「一般観覧者」 ○若い力に圧倒された。末永く続けてほしい。 ○見られることを楽しみにしているのでぜひこのような機会を増やしてほしい。学生が活躍できる場があり、うれしく思った。 ○ステージが見やすく、後部席からの距離も丁度良く楽しく観られた。 ○高校生が出演することにより、パワーをもらえた。次回も楽しみにしている。 ○色々なバンドの演奏を観てたくさん学べた。来年は出られるようにがんばりたい。 ○1 バンド多くて 2 曲にし、前日をリハーサルにして 1day での開催が良い。 ○とても期待していましたが音量が大きすぎたり、照明が強すぎたり、とても残念で有った。でももう一度、聞きにきてみたいと思っている。学生の皆さん、頑張ってください。 ○出演者以外の観客がほぼいないのが残念だった。とても良いライブだったので、もっと集客に力をいれたらもっと良いイベントになると思う。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨については、「高校生に活躍の場を提供」できたと感じている。また、複数校で構成されたバンドもあり、「地域や学校の枠を越えた高校生同士の交流」を図ることができた。 ・運営については、何度も講師やホールスタッフと綿密な打ち合わせを行うことで、円滑にできていたと感じている。 【課題・今後の方向性】 ・集客については、アンケートでも書かれているとおり少ないことが課題となった。広報の仕方や参加校の受付時間について工夫していかなければならないと感じた。チラシへの記載方法についても再検討していく。 ・当日欠席したバンドについては、空白の時間としてしまった。欠席した場合、時間を詰めるのか空けるのかという判断を事前にできるように対策を講じていく。